

プレスリリース
2019年1月31日

第8回フレンチ ビジネス大賞 2019 発表

第8回フレンチ ビジネス大賞は、日仏ビジネスコミュニティのダイナミズムを新たに確認する機会となりました。幅広い分野で活躍している、在日フランス商工会議所の会員企業らの優れた活動を称え、受賞企業を表彰致しました。

在日フランス商工会議所(CCI France Japon) (所在地：東京都千代田区、会頭：アルメル・カイエール) は、2019年1月31日、新年会開催に併せ開催した、第8回「フレンチ ビジネス大賞」表彰式にて、16のノミネート企業から、次の9つの企業の授賞を発表致しました。

カンパニー・オブ・ザ・イヤー2019：ピオセボン・ジャポン株式会社

中小企業(SME)賞 2019：GL EVENTS JAPAN 株式会社

アントレプレナー賞 2019：ザ・プラント株式会社

プロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー 2019：サノフィ ジェンザイム(サノフィ株式会社)

フレンチテック東京賞 2019：スニップス

審査員特別賞 2019：クレディ・アグリコル銀行・東京支店

日仏コラボレーション賞 2019：日本エア・リキード株式会社

イノベーション賞 2019：日本ミシュランタイヤ株式会社

イノベーション賞 2019：株式会社ヴァレオジャパン

在日フランス商工会議所会頭、企業の代表者、オピニオンリーダー、ジャーナリスト、在日フランス商工会議所理事からなる審査委員が審査を行いました。ダイナミックに活躍をしている企業を、イノベティブ、そして日本市場でのビジネスの実現、ビジネス目標達成への試み、そして企業倫理といった観点から審査致しました。

今年度の16のノミネート企業の特徴は、例年に増して、自動車、技術、金融、サービス等、幅広い分野で活躍する日仏の企業が名を連ねていることです。

フレンチ ビジネス大賞 2019 は、昨年創立100周年を昨年迎えた在日フランス商工会議所にとり、新たな一歩となる大切なイベントとなります。在日フランス商工会議所は、日本とフランスの会員企業、パートナー団体と共に更なる飛躍を目指します。

受賞企業

カンパニー・オブ・ザ・イヤー2019 : ビオセボン・ジャポン株式会社
(代表取締役、土谷美津子)

ビオセボンは、2008年にパリで創業されたオーガニックスーパーマーケットです。現在、ヨーロッパで170店舗を展開、日本では2016年12月に1号店を麻布十番へオープンしました。日本におけるオーガニック市場の成長の可能性を確信したことから、2018年より新規出店を加速し、現在まで7店舗を展開しています。2020年に向けて数十店舗を計画しています。フランスのビオセボンと協力し、800品目のオーガニック商品を直輸入しています。国内からは農産をはじめお豆腐や納豆など日常的な食品から、コスメなど日用品までオーガニックの幅広い商品を取り扱い、オーガニック商品の品揃えは日本随一です。



審査員特別賞 2019: クレディ・アグリコル銀行・東京支店
(在日代表 アントワンヌ スィルジ)

日本におけるクレディ・アグリコル・グループ、現在のクレディ・アグリコル CIB (証券会社及び銀行ライセンスを有する東京支店)の歴史は、1936年に始まりました。主に欧州を中心に、日本の投資家への多様な金融商品・サービスを提供しています。又、当グループのグローバルなネットワークを活用し、日系企業の海外進出の支援、及び、フランスの Le Village by CA スタートアップ企業から、クレディ・アグリコル地域銀行、LCL の顧客である中小企業、クレディ・アグリコル CIB の大企業顧客に至るまで、日仏のプロジェクトにおける顧客のニーズに合わせたサービスを提供しています



中小企業(SME)賞 2019: GL EVENTS JAPAN 株式会社
(代表取締役 ギヨーム・マサール)

GL events は、イベント向けの統合ソリューション及びサービスを提供し、5大陸 20 か国以上で事業を展開し 9 億 5,380 万ユーロの売り上げを誇る世界クラスのプロバイダーです。3つの戦略的事業を中心に編成されています。GL events Live は、文化や企業のイベントおよび大規模なスポーツイベント(オリンピック・ラグビーワールドカップ・アジア大会)のデザインから制作まで全てのサービスを提供いたします。



GL events Exhibitions は、食品・文化・テキスタイル・ファッションなど幅広い分野の 300 の見本市のポートフォリオを管理しています。

GL events Venues は、世界中 48 会場(コンベンション/エキシビジョンセンター、多目的施設)の運営、管理しています。

在日フランス商工会議所

英語・仏語: ペリーヌ・ルック : p.loock@ccifj.or.jp - 03-3288-9630

日本語: 森山徹 : t.moriyama@ccifj.or.jp - 03-3288-9633

Fax: 03-3288-9390

アントレプレナー賞 2019: ザ・プラント株式会社
(代表取締役 アナトール・ヴァリン)

東京に拠点を置くザ・プラントは、経験豊富なスタッフ、最新のテクノロジー、そして蓄積されたノウハウを元に、皆様の EC ビジネスを成功に、導きます。ブランドにとって最適なタッチポイントを作り、ショップとお客様をシームレスにつなげる EC プラットフォームをお届けします。

 Experience-Driven
Ecommerce

プロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー 2019: サノフィ ジェンザイム(サノフィ株式会社)
(執行役員 オンコロジー ビジネスユニットヘッド パスカル・リゴディ)

サノフィジェンザイムは、サノフィ株式会社のスペシャルティケア事業部門。アトピー性皮膚炎は湿疹の一種で、憎悪と軽快を繰り返すそう痒を伴う慢性炎症性疾患です。中等症から重症のアトピー性皮膚炎は、患者さんにとって最も大きな負担となります。睡眠障害、不安やうつ症状が現れ、生活の質(QOL)に影響を及ぼします。サノフィ株式会社は2018年4月に、「既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎」の治療薬として、デュピクセント皮下注 300mg シリンジ(一般名:デュポルマブ(遺伝子組換え)、以下「デュピクセント」)を発売しました。「デュピクセント」を通じて、日本のアトピー性皮膚炎の患者さんに新たな治療の選択肢を提供しています。医療従事者と密に連携し、「デュピクセント」を必要とする患者さんのもとに1日も早くお届け出来るよう努力しています。

SANOFI GENZYME 

フレンチテック東京賞 2019: スニップス
(CEO、ランド・ヒンディー)

スニップスは、最先端の AI テクノロジー開発を行う会社として5年前に起業しました。現在はパリを中心に、ニューヨーク、東京合わせて総勢60人以上のスタッフを擁する優良ベンチャーです。Apple、NASA、Blackphone、Honda 技術研究所など多様なバックグラウンドを持つデータサイエンティスト、言語学者、機械学習のスペシャリストで構成されています。これまで2200万ユーロの資金調達に成功しました。

snips



イノベーション賞 2019: 日本ミシュランタイヤ株式会社 (代表取締役社長、ポール・ペリニオ)

ミシュランの日本における歩みは、1964年9月17日、東京オリンピックに開通した、浜松町・羽田空港間に新設されたモノレールへのミシュランスチールラジアル“X”タイヤの採用から始まりました。日本ミシュランタイヤは、ミシュラングループの基礎研究と、日本・アジア地域の乗用車、ライトトラック用タイヤの開発を担うとともに、モーターサイクル用から、乗用車・ライトトラック用、トラック・バス用、航空機用、建設機械・農業機械用まで、幅広いレンジのタイヤを取り扱い、ガイドブック事業、ライセンス事業も展開しています。トラック・バス用タイヤであるX-ONEは、昨今、運送事業者が直面している人手不足の問題、経費削減と環境保全に貢献するため、「Reduce」「Reuse」「Recycle」の『ミシュラン3R』というコンセプトのもと作り上げた製品です。



イノベーション賞 2019: ヴアレオ ジャパン株式会社 (代表取締役社長、アリ・オードバディ)

自動車部品メーカーのヴァレオは、CO2 排出削減と直感的なドライビングに貢献する革新的な製品とシステムを提供しています。ヴァレオジャパン、ヴァレオカペックジャパン、市光株式会社の日本のヴァレオグループ3社は日本に深く根ざし、工場 17ヶ所、R&D センター7ヶ所、従業員 6262 名を擁しています。ヴァレオジャパンは、日本におけるグループの中核として、日本のカーメーカーの国内及びグローバルは事業のパートナーとして、研究開発、製造、営業と顧客サポートを担っています。



日仏コラボレーション賞 2019 : 日本エア・リキード株式会社 (代表取締役社長、矢原史朗)

日本の水素エネルギー主要企業は、水素ステーションの大規模な配備を通じて水素エネルギー市場を推進することを目的に新しいコンソーシアム (Japan Hydrogen Mobility、JHyM) を 2018 年に設立しました。JHyM は政府および自動車メーカーと密接に連携しながら、運営および投資を担当する事業者および金融投資家を集めた独自のスキームを採用しています。日本エア・リキードは JHyM のエグゼクティブカンパニーの一角であり、グローバル市場でのビジネス経験に基づいて JHyM の活動を主導することに貢献しています。これは、グローバル企業が日本とフランスの産業に相乗効果を生み出している好例です。



フレンチ ビジネス 大賞について

エントリー資格: 在日フランス商工会議所の会員企業であること。

(※フレンチテック東京賞 2019 は非会員でも参加できます。)

2018 年の企業活動で顕著な業績があった、もしくは優れた社会貢献をおこなったものに与えられる。

本大賞では以下の 8 つの賞を設け、9 社が受賞しました。

- **カンパニー・オブ・ザ・イヤー** : 活動の成果が最も評価された在日企業
- **審査員特別賞** : 審査員が優れた功績を特に認めた企業。(全ノミネート企業から選考)
- **中小企業(SME) 賞** : 優れた功績を収めた中小企業
(SME とは、スモール&ミッドサイズ エンタープライズ(中小企業)の略)
- **アントレプレナー賞** : 優れた功績を収めたアントレプレナー
- **ベストプロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー** : 最もイノベーション、独自性、発展性あふれる、日本市場で優れた成果を達成した製品またはサービス
- **フレンチテック東京賞** : 実現性があり、日本でのビジネス拡大を目指す独自のプロジェクトを持つデジタル、イノベーション分野で活躍するスタートアップ企業
- **イノベーション賞** : 最もイノベティブな企業、または中小企業(R&D、革新的な製品またはサービス、ニッチマーケットにおけるリーディング企業等)
- **日仏コラボレーション賞** : 日本とフランスがコラボレーションしたプロジェクトで優れた功績を収めた企業

今年新たに創設した日仏コラボレーション賞 2019 に、日本エア・リキード株式会社が選ばれた。イノベーション賞は、今回 2 社が受賞した。

フレンチ ビジネス大賞 審査員

審査員は以下の 5 名です。

- アルメル・カイエール、在日フランス商工会議所会頭、B4F(ミルポルテ)代表取締役
- デヴィル・ルドゥサル、在日フランス商工会議所理事、TMI 総合法律事務所弁護士
- 中島 厚志、独立行政法人 経済産業研究所 理事長
- ヤン・ルソー、フランス経済紙「レ・ゼコー」東京特派員
- 田中 智子、シニアマネージャー、オレンジ・ジャパン 株式会社

在日フランス商工会議所

英語・仏語: ペリーヌ・ルック : p.loock@ccifj.or.jp - 03-3288-9630

日本語: 森山徹 : t.moriyama@ccifj.or.jp - 03-3288-9633

Fax: 03-3288-9390

2019年在日フランス商工会議所 第8回「フレンチ ビジネス大賞」
ノミネート企業16社

※英語の提出書類にて審査を行いました。

カンパニー・オブ・ザ・イヤー（ノミネート企業：5社）

- 日本エア・リキード株式会社
- ピオセボン・ジャポン 株式会社
- クレディ アグリコル コーポレート インベストメント バンク
- GL EVENTS JAPAN 株式会社
- 株式会社リスキーブランド

プロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー（ノミネート企業：7社）

- ビオメリュー・ジャパン株式会社
- コルシカ・ナポレオニカ
- 日本ミシュランタイヤ株式会社
- 株式会社ニナファームジャポン
- サノフィ ジェンザイム（サノフィ株式会社）
- 株式会社ヴァレオ ジャパン
- ウィーアーパシフィック

フレンチテック東京賞2019（ノミネート企業：4社）

- ロカライズ株式会社
- スニップス
- ザ・プラント株式会社
- ウィノテック株式会社

在日フランス商工会議所(CCI France Japon)について

在日フランス商工会議所は、1918年設立、最も歴史ある在日外国商工会議所として活動しています。2018年、創立100周年を迎えました。日仏ビジネスコミュニティの中心的役割を果たすとともに、国際ビジネスの発展に向け貢献をしています。在日ヨーロッパ商工会議所として最大規模で、600会員が登録しています。在日企業会員、海外企業会員、在日個人会員からなり、フランス企業の割合は在日企業会員の約60%、日本企業の割合は在日企業会員の約30%、約10%はその他の外資系企業です。

年間100回以上のイベント（経済動向、ビジネスをテーマに取り上げたパネルディスカッション、セミナー、イベントが中心）を企画開催しています。日仏双方の市場進出のお手伝いとなる企業支援活動（ビジネスパートナー、商談、見本市等、要望にあったビジネスサポート）を行っています。企業向けの雇用のお手伝い、人材開発セミナーの開催をしています。情報収集に役立つ日仏の文化・ビジネス情報をタイムリーに発信するため、ニュースレター、機関誌を発行しています。在外フランス商工会議所連合会（CCI France International）ネットワーク（世界92ヶ国）の傘下であり、世界各国のフランス商工会議所（123商工会議所、30000企業が登録）の中でも特に活発に活動しています。また、欧州ビジネス協会（EBC）でも、中心的な役割を果たしています。

在日フランス商工会議所

英語・仏語：ペリーヌ・ルック : p.loock@ccifj.or.jp - 03-3288-9630

日本語：森山徹 : t.moriyama@ccifj.or.jp - 03-3288-9633

Fax: 03-3288-9390